

規制に関する情報

本機器は、Zebra Technologies Corporation ブランドとして認定されています。

このガイドはモデル番号 WT6000 に適用されます。

Zebra の機器はすべて、販売地域の法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じてその旨を記載したラベルが貼付されています。各言語での情報は、以下の弊社 Web サイトでご確認ください。www.zebra.com/support

Zebra の機器に変更または変更を加えた場合、Zebra による明示的な承認がある場合を除き、その機器を操作するお客様の権限が無効になります。

- 注意 Zebra 承認済みおよび UL 規格のアクセサリ、バッテリーバック、バッテリー充電器のみを使用してください。

濡れたモバイル コンピュータまたはバッテリーを充電しないでください。すべてのコンポーネントは、必ず乾いた状態で外部電源に接続してください。

- 定格最大動作温度は 50°C です。

Bluetooth® 無線テクノロジー

本機は、承認済みの Bluetooth® 製品です。詳細な情報または EPL 登録の確認については、次の Web サイトを参照してください。https://www.bluetooth.org/tppg/listings.cfm

無線機器に関する各国の承認

米国、カナダ、日本、中国、韓国、オーストラリアおよびヨーロッパにおいて無線の使用が承認されていることを示す規制のマークが、認定状況に応じて機器に貼付されます。

その他の国のマークについては、「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は、次の Web サイトから入手できます。http://www.zebra.com/doc

注：ヨーロッパには、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイスおよび英国が含まれます。

- 注意 規制の承認を受けていない機器を操作することは違法です。
- Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的で製品に変更を加えることができるものとしてます。Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの適用および使用を直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。明示的、黙示的、禁反言またはその他の特許権上または特許上のいかなる方法によるかを問わず、Zebra 製品が使用された組み合わせ、システム、機材、マシン、マテリアル、メソッド、またはプロセスを対象として、もしくはこれらに関連して、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

ZEBRA

Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL USA
http://www.zebra.com

© 2018 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved.Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL USA
http://www.zebra.com

© 2018 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved.Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

WT6000

ウェアラブルコンピュータ

規制ガイド

MN-002701-04JA 改訂版 A — 2018 年 9 月

- 通知 5150 ~ 5250MHz の周波数帯では、同一チャネルのモバイル サテライト システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために、この機器を屋内でのみ使用するようになっています。高出力レーダーは、5250 ~ 5350MHz 周波数帯および 5650 ~ 5850MHz 周波数帯の一次ユーザー（優先順位が高い）として指定されており、LE-LAN 機器に干渉や損傷を起す危険性があります。

健康および安全に関する推奨事項

人間工学に基づく推奨事項

- 注意 人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生 / 安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 直接圧力がかかる作業は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

車両への設置

車両の電子システム (安全システムなど) が正しく取り付けられていない場合、または十分にシールドされていない場合、RF 信号の影響を受ける場合があります。お使いの車両については、車両の製造業者または販売代理店にご確認ください。また、車両に追加設置した機器については、その製造業者にもご確認ください。

エアバッグは勢いよく膨らみます。取り付けられている機器やポータブルの無線機器を含むあらゆる装置を、エアバッグの上またはエアバッグの取り付け領域に設置しないようにしてください。車内用無線機器を適切な場所に設置しないと、エアバッグが膨らんだときに深刻な身体的損傷を負う可能性があります。

装置は、手の届く範囲に設置してください。道路から視線をそらすことなく装置を操作できるようにする必要があります。

- 注 公道で電話を受けた際に、クラクションを鳴らしたり、ライトを点滅させたりする原因となる警告装置への接続は、禁止されています。

- 重要 設置および使用前に、フロントガラスへの取り付けおよび機器の使用に関する各地域の法律を確認してください。

安全に設置するための注意点

- 運転者の視界を遮ぎる場所や車の運転の支障となる場所に電話を置かないでください。
- エアバッグを覆わないでください。

路上での安全

運転中は、装置に気を取られたり、使用したりしないでください。メモを取ったり、アドレス帳で検索したりすると、運転上の安全性が損なわれます。

運転中は、安全運転を第一に考え、運転に集中してください。運転時の無線機器の使用に関する各地域の法律および規制を確認してください。それらの規制に常に従う必要があります。

無線機器を運転席で使用する場合は、常識の枠を超えないようにし、次の点に留意してください。

- お使いの無線機器およびその機能 (短縮ダイヤルやリダイヤルなど) について熟知すること。このような機能を使用できる場合、道路以外のことに注意をとられることなく電話をかけることができます。
- ハンズ フリー機器を使用できる場合は、使用すること。
- 電話の話し相手に運転中であることを告げること。交通が混雑している場合、または危険な気象状態にある場合は、必要に応じて電話を中断してください。雨、みぞれ、雪、凍結、および交通渋滞は、危険な状態になる可能性があります。
- 交通量を見極め、最適な状態で電話をかけること。可能であれば、移動中ではないとき、または渋滞に入る前に電話をかけてください。また、自動車を停めているときに電話をかけるように努めてください。移動中に電話をかける必要がある場合は、ダイヤルを数回押すごとに道路とミラーを確認するようにします。
- ストレスが多い会話や感情的な会話は、気が散ることがあるので避けること。電話の相手に自分が運転中であることを理解してもらい、気が散る可能性のある話題は中断してください。
- 助けが必要な場合は、携帯電話を利用すること。火事、交通事故、または医療緊急時は、救急サービス (米国では 911、欧州では 112) または各地域の緊急電話番号に電話してください。携帯電話からこれらの番号への通話は無料です。また、セキュリティコード、ネットワーク、SIM カードの有無に関係なく通話できます。
- 緊急時は、人命保護のために携帯電話を利用すること。交通事故、犯罪、その他の人命にかかわる重大な緊急事態を目撃した場合は、救急サービス (米国では 911、欧州では 112) または各地域の緊急電話番号に電話してください。
- 必要に応じて、路上支援サービスや、携帯電話用の特殊な非緊急サービスを利用すること。危険を伴わない車両故障、故障信号、負傷者のいない小規模な交通事故、または盗難車を発見した場合は、路上支援サービスや携帯電話用の非緊急サービスに電話してください。

無線機器業界では、運転中の無線機器 / 携帯電話の安全使用を呼びかけています。

無線機器の使用上の注意

- 注意 無線機器の使用に関わるすべての警告文をよくお読みください。

潜在的に危険な環境 - 車両での使用

燃料貯蔵所や化学製品工場、空気中に化学物質や粒子（種子、ちり、金属粉など）を含む場所、または通常、自動車のエンジンに切るように義務付けられている場所では、無線機器の使用に関する規制に従う必要があります。

航空機内での安全

空港または航空会社のスタッフの指示に従って、無線機器の電源を切ってください。お使いの機器に「機内モード」などの機能が備わっている場合は、航空会社のスタッフにその旨を説明し、使用可能かどうかを確認してください。

病院での安全

無線機器は、無線周波エネルギーを送信するため、医療用電子機器に影響を与える可能性があります。

病院、クリニック、または医療施設の指示に従って、無線機器の電源を切ってください。このような指示は、電波の影響を受けやすい医療機器に対する干渉を防ぐためのものです。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、ハンドヘルドの無線機器とペースメーカーを 15cm 以上離すように提言しています。この推奨内容は、Wireless Technology Research が独自に行った研究や推奨事項と一致しています。

ペースメーカーの使用者：

- 無線機器の電源が入っている場合は、常に、ペースメーカーから 15cm 以上離してください。

- 無線機器を胸ポケットに入れないでください。
- ペースメーカーの誤作動の可能性を最小限にするため、ペースメーカーの植え込み部位と反対側の耳で通話してください。
- 干渉が発生していると思われる場合は、機器をオフにしてください。

その他の医療機器

かかりつけの医師または医療機器の製造業者にお問い合わせのうえ、ワイヤレス製品が医療機器に干渉しないかどうか確認してください。

無線周波放射に関するガイドライン

安全に関する情報

無線周波放射の抑制 - 適切な使用

機器の操作は、必ず指示に従って行ってください。

国際的規格

この機器は、無線機器から発生する電磁場に人体がさらされた場合に関して、国際的に認知された標準値を満たしています。電磁場に人体がさらされた場合の「国際的」情報については、Zebra の「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は http://www.zebra.com/doc から入手できます。

無線機器から放射される無線周波エネルギーの安全性についての詳細は、http://responsibility.zebra.com/index.php/downloads/ (「Wireless Communications and Health」の下の項目) を参照してください。

ヨーロッパ

- ハンドヘルド機器

この機器は、人体に装着した通常の動作環境でテストされています。EU の制限に準拠するため、Zebra がテストおよび承認をしたベルト クリップやケースなどのアクセサリを使用してください。

米国およびカナダ

- 電話 (耳にあてるか、ヘッドセットを使用)
FCC の制限に準拠するため、Zebra がテストおよび承認したベルト クリップやケースなどのアクセサリを使用してください。サードパーティ製のアクセサリは FCC の無線周波放射制限値に準拠していない場合があるため、使用しないでください。FCC では、FCC 無線放射のガイドラインに従って評価されたあらゆる SAR レベルで報告されたこの種の電話に対し、機器の認証を行っています。この種の電話に関する SAR 情報は、FCC の文字が付いているファイル、および http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid の「Display Grant」セクションに掲載されています。
- 配置場所に関する宣言
FCC の無線周波放射に関する制限に準拠するため、本送信機で使用されているアンテナは、他の送信機またはアンテナと同じ場所に配置したり組み合わせたり動作させたりしてはなりません。ただし、本出願で承認されている場合を除きます。

- ハンドヘルド機器

この機器は、人体に装着した通常の動作環境でテストされています。FCC の制限に準拠するため、Zebra がテストおよび承認したベルト クリップやケースなどのアクセサリを使用してください。サードパーティ製のアクセサリは FCC の無線周波放射制限値に準拠していない場合があるため、使用しないでください。

米国およびカナダの無線周波放射制限値に準拠するため、送信機は人体から 1.8cm 以上離して使用してください。Pour satisfaire aux exigences Américaines et Canadiennes d'exposition aux radio fréquences, un dispositif de transmission doit fonctionner avec une distance de séparation minimale de 1.8 cm ou plus de corps d'une personne.

電源

出力 DC 5.4V、最小 2A (最高周囲温度 50°C 以上) の電気定格を備えた承認済みの UL 規格の ITE (IEC/EN 60950-1、LPS/SELV) 電源のみを使用してください。その他の電源を使用した場合、本機器に対する承認事項はすべて無効になります。また、安全に使用できません。

バッテリー

台湾 - リサイクル

EPA (Environmental Protection Administration: 行政院環境保護署) は、Waste Disposal Act (廃棄物処理法) の第 15 条において、乾電池の製「 **廃電池請回収**」造業者および輸入業者に対し、販売、景品、またはプロモーション目的で使用する電池にリサイクル マークの表示を義務付けています。バッテリーの正しい廃棄方法については、台湾の正規回収業者にお問い合わせください。

バッテリー情報

- 注意 適切でないタイプのバッテリーと交換すると、爆発の恐れがあります。使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。

Zebra が認定したバッテリーのみを使用してください。バッテリー充電機能付きのアクセサリが、以下で使用し モデルでの使用を承認されています。

- 部品番号 BT000262A01 (DC 3.6V、3350mAh)
- 部品番号 BT-000362 (3.6V、5000 mAh).

Zebra の充電式バッテリー バックは、業界内の高基準に適合するように設計・製造されています。

ただし、交換が必要になるまでのバッテリーの寿命や保管期間には限界があります。バッテリーバックの実際の寿命は、温度や極端な環境条件、激しい落下など、さまざまな要因によって決まります。

バッテリーを 6 か月以上保管する場合、バッテリーの総合的な品質に修復不能な劣化が生じる可能性があります。バッテリーを保管する場合は、容量の低下や金属部品の錆び、液漏れを防ぐため、フル充電の半分ほどの充電量にし、機器から取り外して、乾いた涼しい場所で保管してください。バッテリーを 1 年以上保管する場合は、1 年に 1 回以上充電レベルを確認し、フル充電の半分まで充電してください。駆動時間が極端に短くなった場合は、新しいバッテリーに交換してください。

Zebra のバッテリーには、標準で 1 年間の保証期間が設定されています。これは、個別に購入した場合でも、モバイル コンピュータまたはバーコード スキャナに付属している場合でも同様です。Zebra バッテリーの詳細については、次の Web サイトを参照してください。http://www.zebra.com/batterybasics

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。

- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイスのバッテリーを充電する場合、バッテリーと充電器の温度を 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてのご質問は、Zebra サポートにお問い合わせください。
- 分解または外殻を開くこと、圧潰、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。

- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや炊飯機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。

- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Zebra サポートに検査を依頼してください。

無線電波干渉についての要件 - FCC

- 注：この機器は、FCC 規制第 15 部に定められた Class B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こす (機器の電源のオン/オフ操作によって確認できます) 場合、以下の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変える
- 機器と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店またはテレビ/ラジオの専門技術者に相談する

無線送信機 (第 15 部)

- この機器は、FCC 規制第 15 部に準拠しています。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1) この機器は有害な干渉を発生させません。(2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

無線電波干渉についての要件 - カナダ

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

無線送信機

無線 LAN 機器：
カナダで 5GHz 帯の無線 LAN を使用する場合は、以下の制限があります。

- 阻止帯域 5.60 ~ 5.65GHz

この機器は、ライセンス免除無線機に適用されるカナダ産業者の NRC に準拠しています。この機器の使用は以下の 2 つの条件を前提としています。(1) この機器は干渉を発生させません。(2) この機器は、動作の妨げとなり得る場合でも、あらゆる干渉の影響を受けずす。
Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.
L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :
(1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radio électrique subi même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

ラベル表示：無線に関する承認事項に「IC」と表記されている場合、Industry Canada の技術仕様にもみ合っていることを示します。

CE マークと欧州経済地域 (EEA)

EEA 地域で 5GHz 帯の無線 LAN を使用する場合は、以下の制限があります。

5.15 ~ 5.35GHz の周波数帯では、この機器を屋内でのみ使用すること

準拠の宣言

Zebra は、この機器が 1999/5/EC および 2011/65/EU で要求されている条件と関連するその他の規定に準拠していることを宣言します。「適合宣言」文書は、http://www.zebra.com/doc から入手できます。

日本 (VCCI) - 電波障害自主規制協議会

Class B ITE

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています
が、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

韓国 - Class B ITE の警告声明

기종별	사용자안내문
B급 기기 (가정용 방송통신기자재)	이 기기는 가정용(B급) 전자파 적합 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.



